



★ CTF 松阪会員スキルアップ研修会開催

昨年12月と2月にスキルアップ研修会（3講座）が開催されました。

(1) 12月17日「庭木の話」

多数の庭木の手入れについての講義を受講

(2) 2月4日「再出発を見守る社会へ」

・更生を期する方々を如何に見守り支えるかについての講義を受講

・“芥子（けし）”の花についての講義を受講

(3) 2月4日「私の人生と武四郎」

松浦武四郎の足跡&功績と講師自身の関わりについての講義を受講

その後講師、受講者とて場所を変えて食事会を開催しました。



「庭木の話」



「再出発を見守る社会へ」



「私の人生と武四郎」



新車

先日歳には勝てず、安全装備の着いた車を購入しました。

候補は、ハイブリッド車。届いたときに動かしてみたが静かなのです。発進はモーターなのです。エンジンがいつかかっているのか、いつ止まっているのか分かりません。

早速長距離走行の機会があり乗ってみました。長距離もさほど疲れないように感じました。

運転操作もハンドル操作とアクセル、ブレーキ、後は車任せでドライバーは車の操作に専念出来ます。でも車に操られないように気を付けたいものである。



T,S

今月号は文字数が多いので、第3ページ、第4ページにSPコードを2個付けてあります。第1ページ、第3ページ、第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。



スマートスピーカー

■ スマートスピーカーとは何か？

スマートスピーカーとは、対話型の音声操作に対応した AI アシスタント機能を持つスピーカーです。内蔵されているマイクで音声を認識し、情報の検索や連携家電の操作を行います。日本では AI スピーカーとも呼ばれています。

現在、多くの人がインターネットを介して音楽鑑賞や調べ物、買い物といったサービスを利用しています。スマートスピーカーでは、主にこちらから話しかけることで様々なアクションを実行できます。可能なアクションは、検索エンジンを用いた調べ物、ニュースの読み上げ、音楽や動画の再生、家電の操作、ちょっとした雑談まで、多岐にわたります。



AI アシスタントは近年スマートフォンに搭載され、ちょっとした操作や調べ物などに利用できますが、スマートスピーカーでは画面をタッチしたり、キーボードを叩いたりするよりも速く、手軽に目的を達成することができるというメリットがあります。

■ スマートスピーカーにはどんなものがある？

スマートスピーカーは、Amazon や Google など AI アシスタントを擁するインターネット関連企業から発売されています

「Amazon Echo」

Amazon による AI アシスタント「Alexa」に対応しています。スマートスピーカーが続々と登場する現在の状況の引き金となった存在です。



「Google Home」

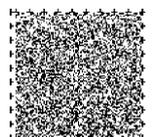
音声認識 AI として「Google アシスタント」に対応しており、Android スマートフォンでおなじみ「OK Google」もしくは「ねえ Google」の音声コマンドで起動します。



「LINE Clova WAVE」

LINE が開発した AI 「Clova」に対応するスマートスピーカーです。

他のスマートスピーカーにはない特徴として、赤外線機能が挙げられます。赤外線リモコンに対応したテレビやエアコンなどを音声で操作することができます。





活動報告

【2月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

(5日、12日、19日、26日)

難病患者さんへの意思伝達支援

(7日)



活動予定

【3月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

5日、12日、19日

松阪市障がい者福祉センター 9:30~11:30



松尾神社によってみた

2年以上に亘って「お伊勢さん125社」をご紹介してきましたが、主な神社は一通り回ったと考え、前号で終わりとなりました。神社つながりで近くの松尾神社に寄ってきましたのでその紹介です。

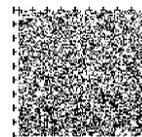
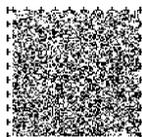
松尾神社はもともと立野神社または立野明神と呼ばれ、中部台運動公園（松阪市立野町）の近くにあり、標高113mの山頂に本殿があります。

約400段もの石階段が続く参道には、奉納された50基にもものぼる鳥居をくぐります。また頂上付近になると急な階段が120段続き、ようやく本殿に到達します。境内からは松阪市内が全貌でき、中部国際空港も望める絶景が広がります。地域の小中学生や市内の高校生たちが、クラブ活動の体力づくりのため階段を上り下りする光景にたびたび遭遇します。

松尾神社は今も立野の明神さんと呼ばれており、大山咋命を祀る延喜式神名帳に記載する飯高郡九座の首神で、昔から立野郷の産土神として奉祝された由緒の古い神社です。明治40年10月同地の八雲神社、八柱神社、翌41年5月丹生寺の白雲神社、岡本の八雲神社ほか藤之木、阿形、大足、西野の各八雲神社を合祀して、現在では大山咋命のほか二十九神が祀られています。また伊勢神宮、熱田神宮、橿原神宮、明治神宮、靖国神社の礼拝所も設置されています。

昔は京都の松尾神社と同様に酒造の神と崇められたということから、酒を醸造する人たちが信仰する神社でもあり、毎日参拝する人や、三重県内はもとより県外からも多くの参拝者が訪れます。

毎年2月11日に行われる松尾神社の例大祭には、地元小学生女児による奉納舞や獅子舞が奉納され、カラオケ大会や餅まきが行われ、多くの人たちでにぎわいます。





老後について考える

昨年暮に「ぼけますから、よろしくお願ひします。」と言う映画を神戸の小さな映画館で見ました。同映画は住吉直子さん（テレビディレクター）の母親が認知症に罹り進行する過程を、東京と両親の住まいである呉市間を往復しながら制作者としての立場だけではなく、父親と母親との夫婦愛・葛藤、或いは娘としての両親への関わり、遠隔地を往復して介護する大変さも交えたドキュメンタリー作品でした。尚、住吉さんの母親は家事・洋裁が得意で子育て解放後は書道を始め、「読売書法展」で特選に選ばれる程明るく、活発で社交的な人でした。



交通機関が発達していない一昔前迄は大半の人は生家、或いは生家の近郊に定住し、生涯を終える生活をして来ました。その結果、制約・約束事があるものの、複数世代の同居、世代の順送りの中で家族の強い繋がり、並びに近隣の緊密な付き合いが続き、その結果老人も周りに見守られて平安な老後を送れたのでしょう。然し、交通機関の進歩、文明の発達（第二次産業、第三次産業）により、一極集中が起きた大都市では、他人同士の集まった核家族化に加えて、個人主義が進み、近隣住民の顔さえ知らない事が当たり前の事となり、一方地方では若年層不在の過疎化が進み、地方・都会に限らず昔の様な老後を送る事は出来難くなりました。

日本は世界的にも医療、介護等の福祉は充実していると思います。然し、これは側面、或いは全面で支える家族、或いは周囲の助け等に基づくシステムであると思います。

個人主義、核家族化、過疎化（若年層不在）、老齡化（老々介護）等が進んで来ると今は良い制度であっても早晚破綻するのでは無いかと思います。

首都移転構想、地方創生等々議論されていますが、顕著な効果は上がっていないと思います。地方創生は大都市と地方の新たな役割を決め、大都市・地方の関係を強めて人々が行き来しなくなる環境を作り、現在抱えている問題点（一極集中、人口減少、過疎化、個人主義、高齢化、少子化、孤独死等々）を少しでも改善し、地方と都会、世代間、個人と近隣等の新たな役割分担、協調関係を作る手段では無いかと思います。そして、それは大災害にも耐えられる強靱な日本を作る一助、或いはの違った方法での”日本創生”かも知れません。

老いは万人に訪れ、長寿により更に多くの人々が認知症になる事は避けられません。現状を当たり前と見ずに、少し昔の日本に戻りませんか。

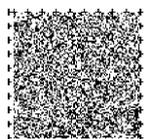
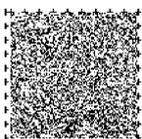


編集後記

梅の花が咲き始めインフルエンザもようやく落ち着いたと思ったら花粉に悩まされるシーズンになりました。

花粉症は、世代が高いほど「軽症」、低いほど「重症」が増加する傾向のようです。これは、“免疫系の衰え”“環境の変化”“食生活の変化”などが関係していることが考えられるようです。

花粉症対策の中で、ちょっと意外ものに「チョコレート」があります。チョコレートに含まれる「カオポリフェノール」には、抗アレルギー効果があるとのことで、花粉が引き起こすアレルギー症状を予防してくれるそうです。効果があるからといってチョコレートの食べすぎには注意しましょうね！



CTF 通信第 192 号

2019年（平成31年）3月発行

発行者 IT を活用した障がい者支援 NPO 法人

CTF 松阪

発行責任者 山 田 則 男

住 所 〒515-0081

松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp/>